

「生ごみ分別・資源化事業」からできた「たい肥」を有効活用

【大山小学校】

1年生がアサガオの栽培
 大山小学校では、生命への親しみをもち、大切にすることなどを学習する生活科の授業の中、アサガオの栽培をしています。どんなアサガオに成長するか楽しみです。
 上砂小学校、第9小学校、第5中学校でも、花や野菜づくりに活用していきます。



せん定枝からできた「たい肥の素」で楽しく生ごみ減量



たい肥の素に家庭の生ごみを加えて、日々かき混ぜることでたい肥ができます。市は、たい肥の素と衣装ケースを使って、家庭のベランダでもできる「ベランダたい肥づくり」を市民の皆さんへおすすめしています。

お申込みは…ごみ対策課ごみ減量推進係
 電話 523-2111 内線 6757
 FAX531-5800
 E-mail gomitaisaku@city.tachikawa.lg.jp

生ごみ処理機器を使って生ごみ減量



たい肥でガーデニングや家庭菜園を楽しみませんか♪



水切りした生ごみを、生ごみ処理機やコンポストなどを上手に使うことによって、たい肥としてリサイクルすることができます。
 市では、市民の皆さんのごみ減量意識の向上と生ごみ減量を目的に生ごみ処理機器等の購入費の一部を助成しています。

お問い合わせは…ごみ対策課ごみ対策係
 電話 531-5518

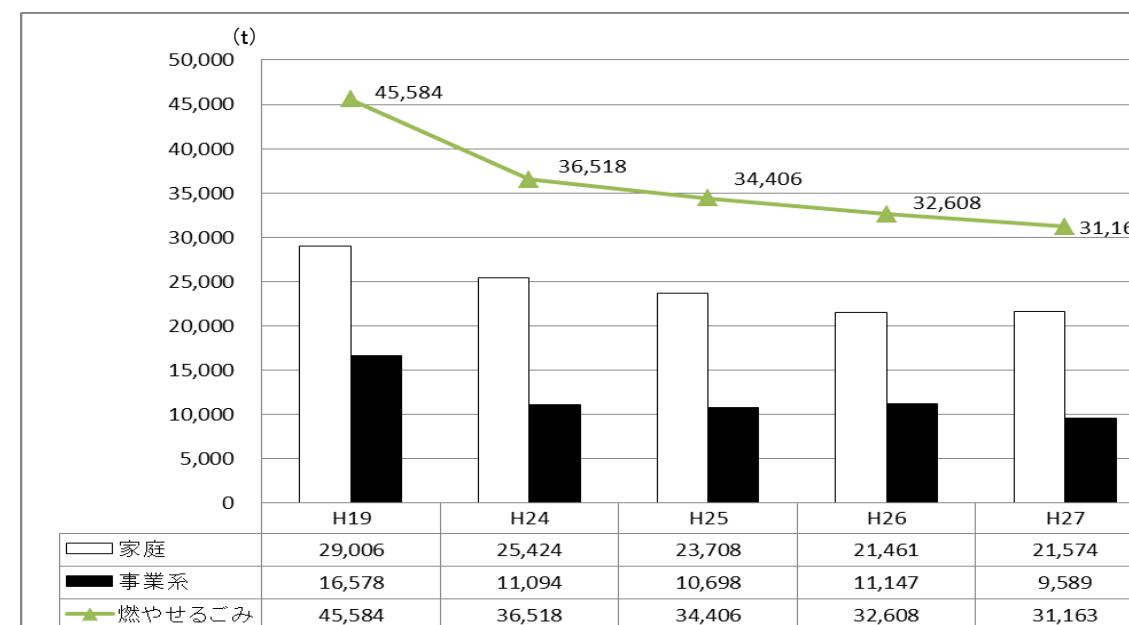
生ごみのおいが特に気になる季節になりました。
 しっかり生ごみの水切りをすることで、イヤ～な臭いの発生を防ぐことができます。

立川市のごみの現状

日頃より、ご理解ご協力いただき、ありがとうございます



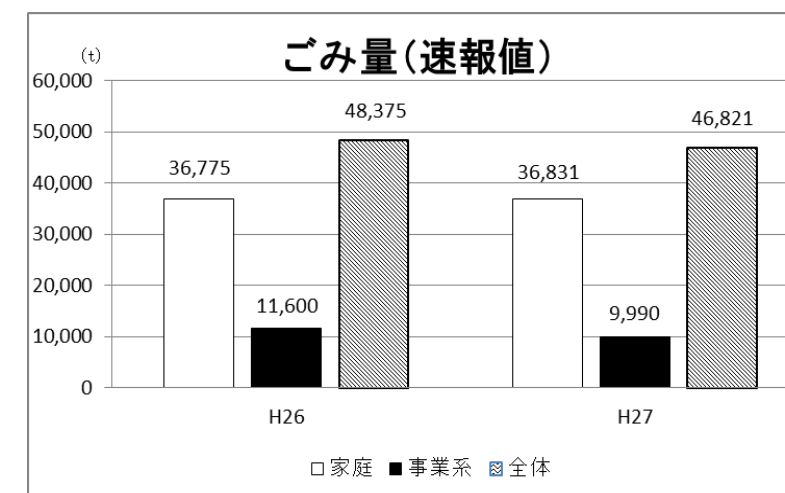
燃やせるごみ量の推移(速報値)



【平成27年度実績(速報値)】

平成27年4月から平成28年3月までのごみの量は、上記及び右記のグラフのとおりです。平成26年度と比べると、燃やせるごみの量は、家庭が若干増加しているものの事業系が減少しているため、全体では31,163トンとなり、約1,400トン減りました。

市民・事業者の皆さんのご協力により燃やせるごみは、平成19年度比で約14,400トン減量(約32パーセント減少)しています

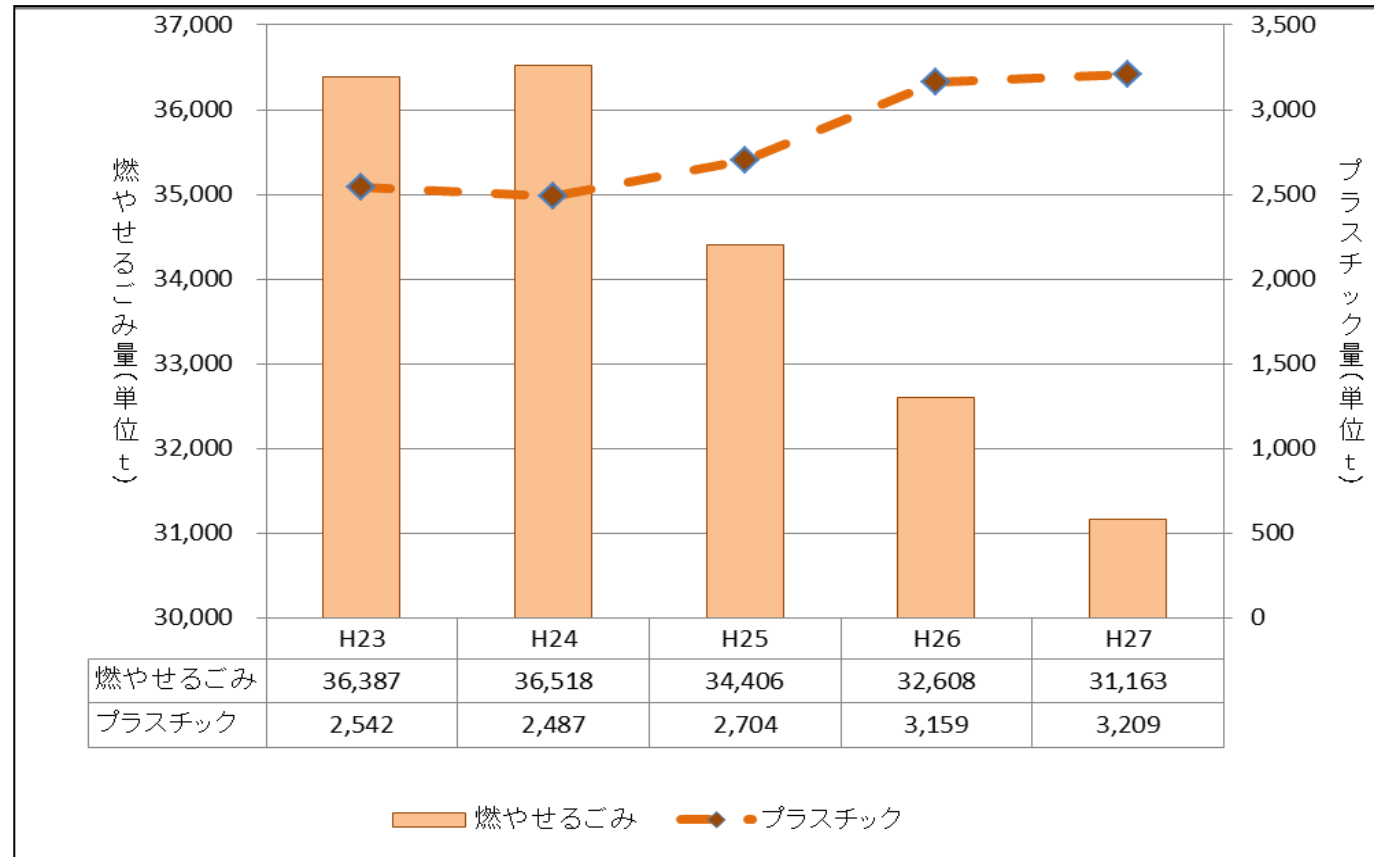


「未来へつなごう ごみをつくらないライフスタイル」をスローガンに、ごみの減量とリサイクルの推進に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

ごみ減量・リサイクル推進委員会からのメッセージ

皆さんに知ってもらいたい「プラスチックごみの現状」

【燃やせるごみ・プラスチックごみ量の推移】



(平成 27 年度は速報値)

【グラフから見えるもの】

- 戸別収集・有料化は平成 25 年 11 月より実施
- 有料化後は燃やせるごみの排出量が減り、プラスチックの排出量が増えている
- これまで燃やせるごみとして排出されていたプラスチックがきちんと分別されている一方で、無料品目である「プラスチック」の中に異物を混入させている可能性がある

【総合リサイクルセンターの現場から】

- 戸別収集・有料化の直後は、プラスチックの排出状況が非常に良くなったが、ここ数年で状況が悪化している
- 有料化後数年経過したことで「慣れ」が生じた可能性がある
- 転出入により、平成 25 年当時の市民が入れ替わっていることも原因として考えられる

分別が進んでいる一方、残念ながら排出状況が悪くなっているようです。
右のページでは現場の写真を紹介します。

きちんと「分別」！もっと「キレイ」に！～あまりに酷すぎるプラごみの現場～

【汚れのひどいプラスチック】



飲食物が残ったままの状態で排出されることが非常に多いようです。これでは周りのキレイなプラスチックも汚してしまいます。

【異物の混入】



左は電子機器の入ったプラ容器。右は靴やサンダルが混入しています。「少しでもプラスチックの部分があれば」プラスチックごみとして出されてしまうこともあるようです。

【別品目の混入】



残念ながら全く品目の異なるものが混入していることもあるとのこと。上の写真は、左から牛乳パック、ペットボトル、雑がみ、スポンジです。

※牛乳パック、ペットボトル、紙類は指定の収集曜日に。スポンジは「燃やせるごみ」として出すことができます。

プラスチックは「分別」と「きれい」がポイント

家庭から資源として出されたプラスチックは、①プラスチックを溶かしてもう一度プラスチックの原料や製品に再生する、②プラスチックを化学的に分解して化学原料や油に再生する、③プラスチックを焼却してその熱を利用したり固形燃料にする、という方法でリサイクルされています。

たとえば、回収されたペットボトルは作業服や文具などになっています。このようなリサイクルを行うためには、同じ種類のプラスチックを集めたり、異物を取り除くことがたいへん重要になります。家庭から出される廃プラスチックに金属類や食べ物類などの「プラスチック以外のもの」が混入しているとリサイクルの障害になってしまいます。「正しい分別」と「汚れは水ですすいできれいにして出す」をお願いいたします。

ごみ減量・リサイクル推進委員会……市民、事業者と行政が一体となって、ごみ減量とリサイクルの推進を図るために活動しています。次号以降もごみ減量に向けたメッセージをお届けします。